

統合化されたITが 変化をもたらす仕組み

サービスを最適化するためにITを統合している企業は、コストをうまく管理し、サービス水準を改善できます。サービス水準が高ければ高いほど、お客様の満足度と社員の生産性が上がり、経営手腕に長けた企業になることができます。

問題

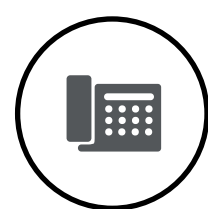


セールスマネージャーは、販売と生産計画を完了するためにMicrosoft Visioが必要です。アプリケーションを持っておらず、ソフトウェアの購入とインストールに数日を失うわけにはいけません。また、新しいソフトウェアを購入するための予算もありません。

手動

VS

自動



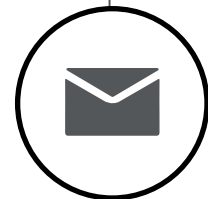
マネージャーがVisioを起動しようとして、アクセスが拒否されます。ソフトウェアのリクエストをサポートデスクに電話します。



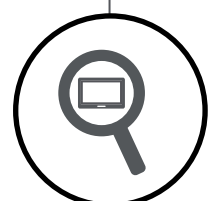
サービスデスクアナリストは、IT/調達部門にタスクを送信します。



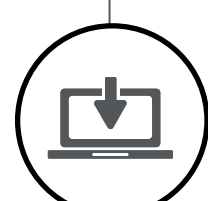
IT/調達部門は、購入の承認を待ってから、Microsoft Visioの新しいソフトウェアライセンスを注文します。



IT部門は、納品日と注文確認のメールをマネージャーに送信します。



IT担当者は、デバイスとユーザーを手動で検索します。



IT担当者は、手動でMicrosoft Visioのインストールを開始します。



IT担当者は、サポートデスクにタスクの完了メールを送信します。



サポートデスクは、問題が解決されたかマネージャーに電話で確認します。



マネージャーが、Microsoft Visioの新しいソフトウェアリクエストを送信します。



使用可能または未使用のライセンスがあるかシステムが確認・特定します。



Visioアプリケーションがマネージャーに割り当てられます。



システムは、データ検出 (EPM, SCCM) の統合に基づいて、ユーザーに関連している権限やデバイスを確認します。



Microsoft Visioアプリケーションは、マネージャーの権限に応じて自動的にデバイスにインストールされます。

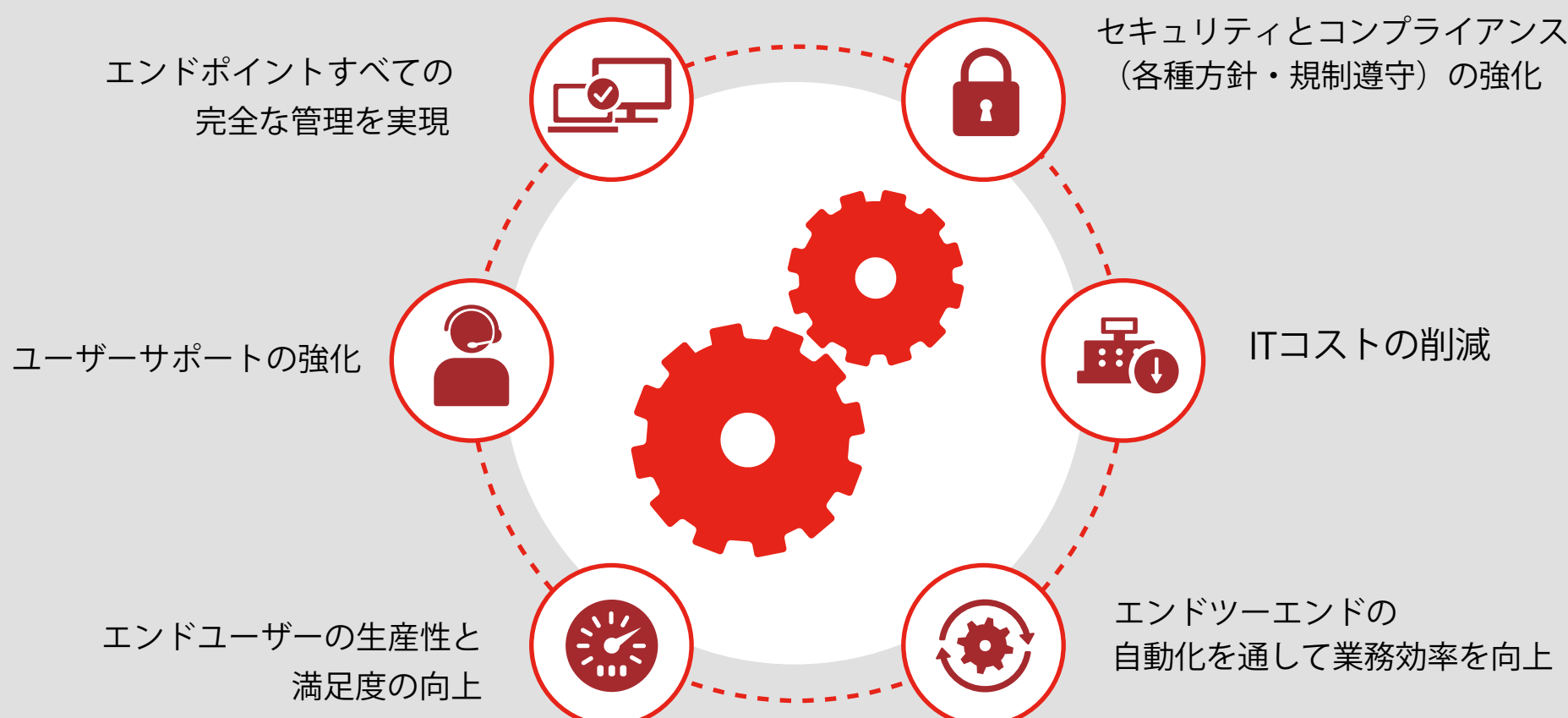


Service Deskは、すべての自動化タスクが完了したことを確認し、ソフトウェアのリクエストを完了します。



統合化されたITは、ソフトウェアリクエストに必要な手順と完了するまでの時間を短縮します。従業員はすぐに業務に戻り、生産性が向上されます。また、未使用のライセンスを再取得することで、コストの最適化、ライセンスのコンプライアンス要件の遵守、そして、資産が棚上げされた状態のままにはなりません。

自動化は 大きな変化をもたらします



自動化のベストプラクティス

- ✓ セルフサービスでユーザーに権限を付与
- ✓ 「ゼロタッチ」モデルのソフトウェアプロビジョニングと強化されたセキュリティ&コンプライアンス（各種方針・規制遵守）を実現する統合化されたIT
- ✓ 企業全体で柔軟なワークフローを通してITサービスを拡大